

## ◆平成 28 年度岡山県地域産業人材育成講座の取り組み

岡山県と公益財団法人岡山県市町村振興協会では、地域産業の推進役である県・市町村や産業支援機関の職員を対象として、政策立案能力の向上と、経営面の知識の習得を目的とした人材育成講座を開催しました。

この講座は地域産業振興の専門家がコーディネートする地域政策研究講座と、ビジネススクールで学ぶ経営知識の基礎の経営マネジメント講座の2講座を組み合わせて実施しました。

### ●地域政策研究講座

「思いの醸成や施策立案能力の向上」

### ●経営マネジメント講座

「地域産業振興に必要な知識と経営センスの習得」

### 地域政策研究講座

#### ◆第 1 回（5/20） 開講式・基調講演・オリエンテーション

概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基調講演「地域産業おこしと人材育成」 講師：明星大学経済学部 教授 関 満博氏</li> <li>・ オリエンテーション</li> </ul>
基調講演要旨	<p>自治体や商工会議所・信金・信組の若手職員が地域経営の担い手であり、起業するぐらいの気概が必要となります。また、県・市町村には、国の補助事業をとってくるだけではなく、その地域の問題を洗い出し解決するための具体的プラン（政策）を自ら考え実行することが求められています。</p>
講座のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ “地域への思い” を醸成する</li> <li>・ “説得力” を手に入れる</li> <li>・ “同じ志を持つ者のネットワーク” をつくる</li> </ul> <p>◇(株)グロービス オリエンテーション 「経営マネジメント講座」参加にあたって</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言葉にすること、発言することにこだわる</li> <li>・ 間違いを恐れない（考え方やプロセスを学ぶ）</li> <li>・ 置かれた環境の中で考え抜く（自分なりの意思決定をする）</li> </ul> <p>◇(有)アーバンクラフト 長崎利幸 氏【コーディネーター】オリエンテーション</p> <p>「地域政策研究講座」のねらいとプレゼンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予算獲得するぐらいの高いレベルを目指す</li> <li>・ オリジナル性、地域課題の解決となる、実現可能性で評価し、上位3名の名前を発表する</li> <li>・ 出来る限り出席し、好奇心豊かに学び、ネットワークを広げること</li> </ul>

	→ネットワーク作りの機会をつくる
	◇受講生自己紹介 各自、自分を売り込む自己PRを1人3分で実施（長崎氏がアドバイス）



（基調講演 明星大学 関光博 教授）



（有アーバンクラフト 長崎利幸 氏）



（受講生 自己紹介の様子）

◆第3回（7/6～7 宿泊研修） 企業訪問の実践 （研修先：浅口市、里庄町）

スケジュール	<b>1日目</b> ◇里庄町の産業紹介（企画商工課 上杉課長補佐） ◇講演「人・つながり それが「産業振興」」 講師：里庄町総務課主任 筒井俊光 氏 ◇企業訪問注意事項 （有）アーバンクラフト 長崎利幸 氏 ◇企業訪問①	<b>2日目</b> ◇浅口市の産業紹介 （産業振興課 徳田課長、三宅係長） ◇企業訪問②（4班に分かれて訪問） ◇グループ発表
ねらい・概要	地域に不可欠な企業等を訪問し、経営戦略、販路開拓の方法及び強み・弱み等を聞き出す行動力と能力を養うことを目標に浅口市、里庄町内の企業を計5社訪問しました。その後、訪問結果をメンバー（グループ）発表しました。	

受講生アンケート  
【一部抜粋】

◆筒井主任の講演

産業振興は人との繋がりが大事で、多くのキーパーソンと出会い、夢・目標を持って取り組みたいと思った。

◆企業訪問

工場見学全般を通して、企業の方のモノづくりへの情熱を感じることができた。このような熱い企業が地域で活躍し続けるためのサポートを行っていくことも、行政に求められているのではと感じた。

◆グループ発表を終えて

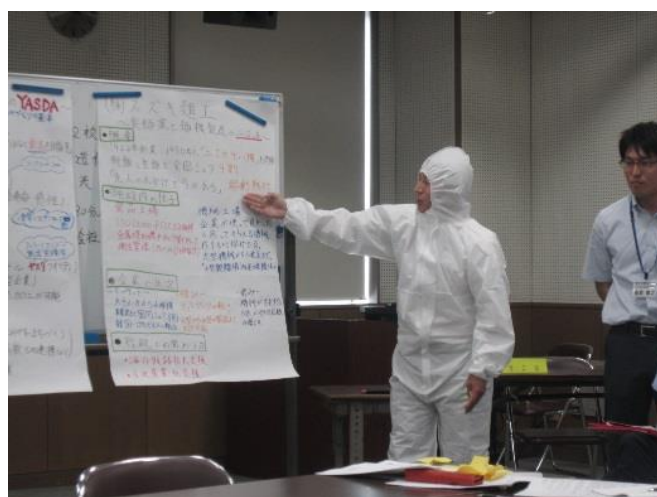
短時間でいかに伝えたいことをまとめるかに苦心した。ただ、見てきたことを報告するだけではなく、私たちが行政としてどう関わっていくかを考えることが重要であることを学んだ。この企業にとって本当のニーズはどこにあるのかを意識しながら聞くことを今後の訪問において心がけていきたいと思う。



(里庄町の産業紹介の様子)



(企業訪問)



(グループ発表の様子)

◆第6回(10/7) 地域産業振興の実践力を学ぶ

<p>概要</p>	<p>◇柏田 恆希 氏 (八王子市都市緑化フェア推進室 課長補佐) 講演会 「産業振興革命 ～地方公務員の「使命」～」 ◇座談会 ◇プレゼンテーションのテーマ発表等</p>
<p>講演要旨</p>	<p>産業振興において国や県、基礎自治体が役割分担すること、自治体の担当者は経営者と接触しやすい優位性(現場主義)や、行政の信用力・権限・情報力をフルに活かして信頼関係を構築することが大切。地方公務員の使命として、自分の仕事に誇りをもつこと、住民を命がけで守るという重い責任があること。</p>
<p>受講生アンケート 【一部抜粋】</p>	<p>◆柏田課長補佐の講演 とても刺激的であり、印象的な講演であった。行政が無理強いをして、企業を動かすのではなく、企業もまた自発的に、目標・目指すべき方向へ動く…そういった活動として、経営者の「やる気」という表現は、とても的確な表現に感じられた。 ◆プレゼンテーションのテーマ発表等 先生の的確な意見を受けて修正するポイントを把握できた。また、皆のプレゼンテーマを聞いて、それぞれの地域性が活かされているものばかりで、皆に後れを取らないように取組を進めたい。</p>



(八王子市 柏田課長補佐)



(プレゼンテーションテーマ発表の様子)

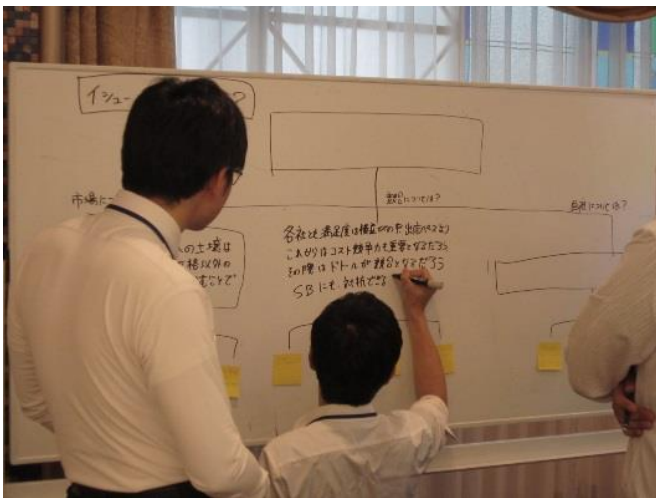
経営マネジメント講座

◆第2回 (6/3)

【1回目 テーマ：クリティカル・シンキング】

講師 普天間 大介 氏 (株グロービス)

ねらい	事象や相手の話をわかりやすく整理する方法を身につけ、説得力のあるコミュニケーション力を付ける。
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イシューを押さえる、押さえ続ける</li> <li>・ 何が言えればいいのか？を考える (枠組み)</li> <li>・ 考えるとは「疑う」(前提を意識する)</li> <li>・ 考えるとは「解釈する」(So what? Why?)</li> <li>・ PSで考える (手と目を使って考える)</li> </ul>



◆第4回 (8/3)

【2回目 テーマ：インタラクティブ・レクチャー：経営戦略の基本概念】

講師 和田 将人 氏 (株グロービス)

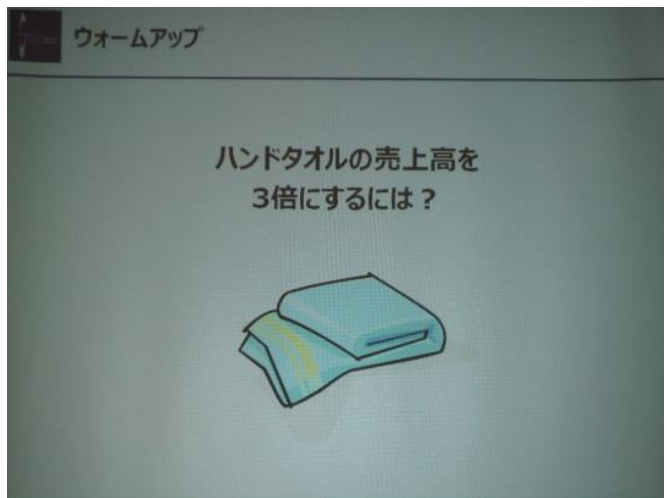
ねらい	経営戦略の基本的なフレームワークや戦略立案の思考プロセスを押さえる。
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 競争優位性各機能の施策がチェーンとなって繋がり、K S Fを満たすことにより競争優位が構築される</li> <li>・ 戦略の定石戦略の立案の際は、「戦略の定石」を使うのも有効。その際は定石の前提 (リスク) に注意する。市場の中での自社のポジション・経営資源を分析し、状況に応じた戦略を立てる</li> <li>・ 戦略オプションの評価 「市場の魅力度」「自社の競争優位性の構築可能性」などを判断軸とし、自社をとりかこむ環境にあった選択基準を持つ</li> </ul>

◆第5回 (9/2)

【3回目 テーマ：マーケティングの基本概念】

講師 小島 和也 氏 (株グロービス)

ねらい	マーケティングを考える上で踏むべき思考プロセスや各プロセスにおける基本的な視点・定石を押さえる。
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 狙う顧客を絞り、捨てるものを明確にする</li> <li>・ DMU (購買意思決定者) 毎にささるポジショニングを設計する</li> <li>・ PDCA を早く回す仕組みを4P (製品、価格、チャネル、広告宣伝) に埋め込む</li> </ul> <p>※他社が真似するのを少しでも遅くさせる仕組みをつくる</p>



◆第7回 (11/4)

【4回目 テーマ：ビジネスモデルとアカウンティング】

講師 溝口 聖規 氏 (株グロービス)

ねらい	会計を財務諸表に限定せず経営の全体像に絡めて学ぶことで、戦略と財務を一体として考える力を付ける。
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 財務諸表から企業の実態を読み解く</li> <li>・ 経営上の本質的な問題点に関する仮説を構築する (経理スタッフの立場ではなく、ビジネスリーダーの視点で)</li> <li>・ 財務分析の視点</li> </ul> <p>売上 企業が提供している価値が、顧客にどの程度認められているか          コスト 提供できた価値に対して、消費した価値 (コスト) はどうなっているか、          資産 中身は適切か、また、効率的に活用できているか          負債・純資産 新たな事業展開に向けての投資余力はあるか</p>

◆第8回 (12/2)

【5回目 テーマ：事業革新の全体像】

講師 板倉 義彦 氏 (株)グロービス

ねらい	事業革新やビジネスモデルの全体像を押さえ、事業革新の難しさと突破のポイントを考える。
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存の事業に対して、改善や拡大でも利益が出ない場合、ビジネスモデルを変えていくこと＝事業革新戦略立案の実行</li> <li>・ 企業経営者の問題意識に触れる</li> <li>・ バリューチェーン分析</li> <li>・ 何かをするとき、そもそも問題は何かを問う (イシューを考える)</li> </ul>



◆第9回 (1/20) 成果発表会 (プレゼンテーション)

ねらい	全講座を通して学んだ内容を活かし、それぞれの立場から提案する中小企業支援策あるいは地域活性化策を発表。
概要	第1回目～8回目の講座を通して、地域に対する思いやりの醸成や地域産業振興に必要な知識と経営センスの習得を目指してきました。これらを踏まえ、第9回目(成果発表会)では、施策立案のプレゼンテーションを行いました。
中間報告時 第6回 (10/7) 長崎講師からのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テーマを具体化し、掘り下げること</li> <li>・ 効果を数値化する(具体的に)</li> <li>・ 首長が予算をつけてくれるような資料を添付すること</li> <li>・ 実際の活用方法まで考えないとプレゼンにならない</li> <li>・ 制度設置後の支援計画まで考えてほしい</li> <li>・ 支援者(部隊)を取り入れるなら、人脈をフルに活用すること</li> </ul>
成果発表	中間報告時(第6回(10/7))の長崎講師からのアドバイスを元に、経営マネジメント講座で学んだ内容を随所に取り入れたものとなっていました。また、目的の違う二つの講座を組み合わせることによって、相乗効果が得られる結果となりました。

長崎講師の講評

以前実施していたキーパーソン養成塾に続く講座という視点から見て「プレゼン技術のレベルは年々上がっている。」という高評価をいただきました。内容に関しても「実施実現ができそうなレベルの発表者もいて、今後期待をしたい」と全体的に高い評価をいただきました。



(発表会場の様子)



(修了式)